

## 地盤工学会関西支部 第14回若手セミナー

### 開催報告

公益社団法人 地盤工学会 関西支部 行事・広報グループ

#### 1. はじめに

地盤工学会関西支部では、次世代を担う若手の「活性化」・「交流」を目的として毎年若手セミナーを開催しております。第14回若手セミナーではCVV(Civil Veterans Volunteers)でご活躍されているベテラン技術者2名を講師としてお招きし、これまでの業務等で得られた経験や知見について講演・話題提供いただきました。今回は初の試みとして土木分野のトラブル事例をテーマにグループ討議を行いました。活発な意見交換がなされて、若手技術者が「気づき」や「学び」を得る良い機会になったのではないかと思います。また、セミナー後は約4年ぶりとなる交流会を開催し、異なる会社の若手技術者同士やベテラン技術者との意見交換やより深い交流が図れました。

なお、本セミナーはオンラインと対面のハイブリッドにより開催いたしました。

#### 2. 若手セミナーの概要および状況

日 時：令和5年11月16日(木) 14:00~18:30

場 所：ドーンセミナー（大阪府立男女共同参画・青少年センター）大会議室

+Zoom ミーティング（オンラインと対面のハイブリッド開催）

参加者：12名（対面参加者11名，オンライン参加者1名） ※欠席2名

##### 講演

「古生代のダム基礎岩盤との対話」

講師：原 稔明 氏（いであ株式会社・元水資源機構）

##### グループ討議話題提供

「土木構造物に関するトラブル事例と学び」

講師：祝 賢治 氏（元徳島文理大学）

#### 3. おわりに

今回の若手セミナーではお忙しい中多数参加申し込み頂き、誠にありがとうございました。昨年度に引き続き対面およびオンラインでの開催となりましたが、大きなトラブルもなく無事、実施することができました。また、今回初の試みであるグループ討議では、参加者同士の活発な意見交換がなされており、よい交流の機会になったかと思えます。今後も若手の交流の場として引き続きご参加いただけたら幸いです。

最後に講師の方々におきましても、ご多忙の中引き受けていただき、誠にありがとうございました。

#### 開催状況

##### 〈対面会場〉

##### 〔講演〕



##### 〔グループ討議〕

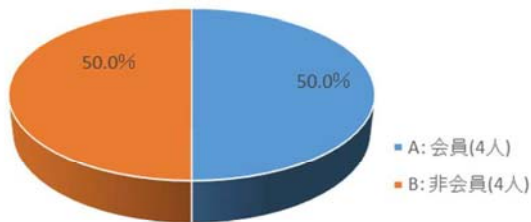


##### 〔交流会〕

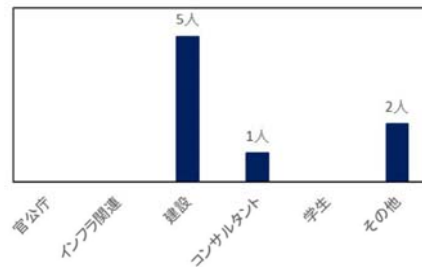


◆第14回若手セミナー アンケート結果

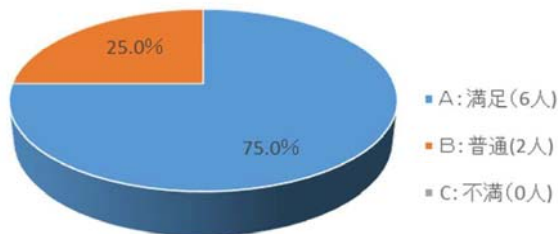
Q1. 会員・非会員について(回答数8人)



Q2. 参加者の所属について(回答数8人)

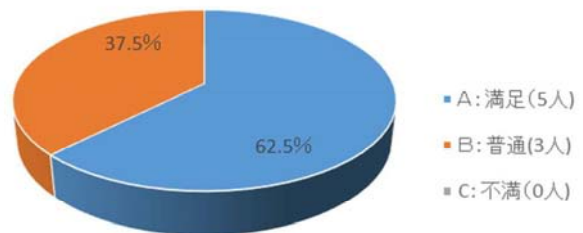


Q3. 「講演」の満足度について(回答数8人)



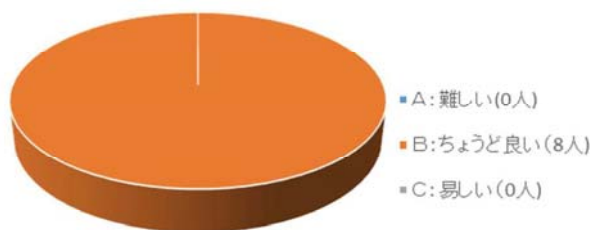
※非会員の方においても75%の方に満足したとの回答を頂きました。

Q4. 「グループ討議」の満足度について(回答数8人)

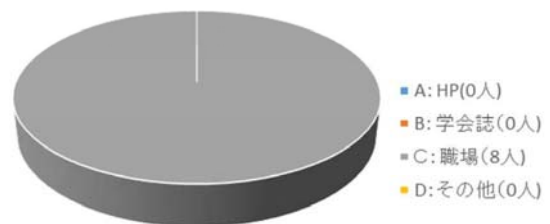


※非会員の方においても75%の方に満足したとの回答を頂きました。

Q5. 若手セミナーの内容について(回答数8人)



Q6. 若手セミナーの企画をどこで知ったか(回答数8人)



Q3. 「講演」の満足度について寄せられた意見

- ・限られた時間でいかに技術者として成長するか大事だと思います(≠残業)
- ・技術者としての心構えを改めて認識する機会になったと感じました。
- ・内容自体は非常に興味がありましたが、内容が多く十分に理解できない箇所がありました
- ・講師の方の経験、アドバイスなどすごく参考になりました。

Q4. 「グループ討議」の満足度について寄せられた意見

- ・グループ討議までの説明が長い
- ・多方面からの意見を聞くことができ勉強になりました。
- ・過去の事象から学び、同じことを繰り返さないための、良いディスカッションができたと感じました。
- ・トンネルに関わったことが無かったので、ごく一般的な疑問点しか思い浮かばなかったです
- ・違う業種の方たちとの討議で、物事の見方や考え方の違いなどすごく勉強になりました。

#### Q7. 今後、若手セミナーで取り上げて欲しい内容

- ・地盤改良について
- ・質の高い情報を収集するための手法など
- ・東日本大震災のインフラの被害から我々土木技術者が学ぶべきポイント等があれば、取り上げて頂きたいです。

#### Q8. 若手セミナー全体を通じての感想や意見

- ・良い勉強の機会だと思います。事例から学ぶのは若手にとって理解しやすいと思いました。
- ・経験年数を合わせると気軽に話せると思いました。設計、施工、維持管理それぞれの立場の方と議論したい内容でした。
- ・グループ討議の試みはすごくよかったと感じました。一方で、私以外の参加者が若い方が多かったので、若い方の意見を聞ける一方、討議としてはギャップを感じる部分もありました。
- ・他の会社の方とコミュニケーションをとる機会はありませんので、今回横のつながりを広げる良い機会となりました。
- ・グループ討議において、意見が出て盛り上がってきたあたりで、残り時間が少なくなってしまったので、もう少しグループ討議の時間があれば良いかと感じました。
- ・グループ討議を通して普段接することがあまりない他社の若手の皆さんと繋がることができ良かったです。また、講師の皆様の経験談や意識すべきことをお聞きでき、この先 50 年以上使用していく構造物を作っているという当事者意識をもって施工を行っていかねばならないことを改めて意識できました。
- ・討論会の議題で上がった「トンネル」の構造について、アンカーボルトが非対称であることの他に気になる点が多くあった。今後の維持管理を考慮した設計を意識して、設計を行っていきたい。
- ・普段行っている仕事と違う分野の話を聞けて、新鮮で勉強になりました。また、グループ討議や懇親会でほかの会社の方たちと交流でいろいろな話を聞くことができとても刺激になりました。

#### Q9. 今後、地盤工学会関西支部で開催して欲しい企画

- ・セミナーは支部研究発表会と合同にしてはどうか。個別に募集するより集まると思います。